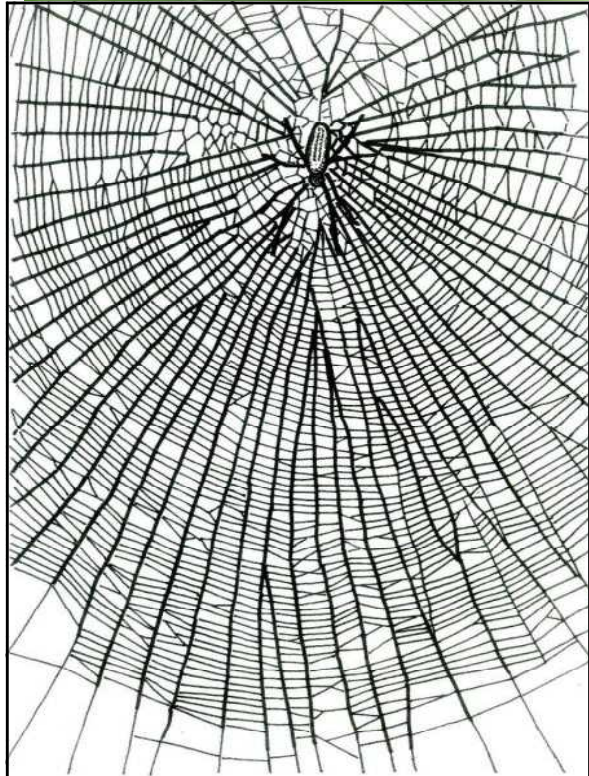


森の川自然散歩

2017年7月号



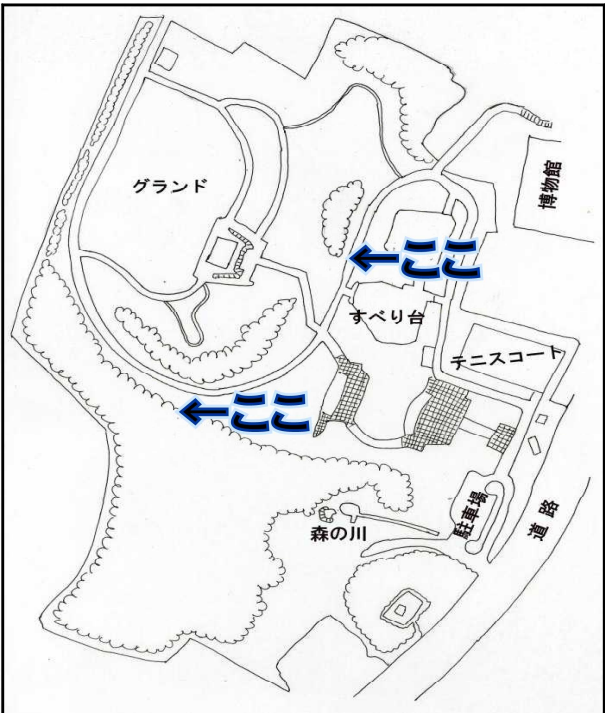
日本一大きなクモが現れた！

上:オオジョロウグモのメス

左:オオジョロウグモの大きな網。たくさんのたて糸の間にある横糸は規則正しく張られているわけではありません。

オオジョロウグモ メモ ▶▶▶

- メスの大きさは日本一だよ。上の写真はほぼ実物大なんだ。でもオスは15ミッくらいと小さい。
- 体の色は、黒に黄色のたて筋模様、赤茶色、真っ黒といろいろあるよ。
- 南方の島では、Y字形の木の枝に、このクモの網を集めて、魚をすくい獲るらしい。
- 5月くらいから仔グモが見られはじめ、8月には一番大きくなる。11月頃には産卵して死んでしまうので、見られなくなる。



森川公園で見つける不思議

梅雨があけ、公園の緑も夏色緑。
暑くなった公園ですが、相変わらず不思議がいっぱい。

(4) ソテツのオスとメス

公園のすべり台から左手にある広場のトンネルを上がったところの斜面には、ソテツの大群があります。ソテツはオスとメスが別々の植物です。オス株の花は高く付きだし、まるで塔のようです。一方、メス株の花はまーるく盛り上がり、ドーム型をしています。もちろん、実はメス株の方につきます。

ところで、森川公園のソテツ広場を見てみると。あれ、空に突き出している塔が見えないよ。

ということは、ここに生えているソテツは、皆んなメス株ってこと？。でも、ここのメス株は、ちゃんと実がついているよ。

これって、どういうことなんだろう？。



上:ソテツのメス株



左:ソテツのオス株

森川公園7月の花ごよみ

シロノセンダングサ



- 沖縄島から宮古、八重山まで広い範囲に生えていて、高さは30 cmから150 cmくらい。
- 方言では「サシクサ」と呼ばれることが多い。花びらが真っ白なところから、以前はアユキセンダングサとも言われていた。
- 花びらが散って、黄色の部分に実ができるけど、実にはトゲが有り、側を通ると、洋服にくっついてくる。
- 若い葉は、天ぷらにしたり、みそ汁に入れて食べられるよ。

博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

